

平成 2 8 年度一般会計予算の上半期における執行状況（概要）

平成 2 8 年 9 月 3 0 日現在（上半期）における一般会計の予算規模は、2 1, 4 8 5, 8 3 6 千円（繰越明許費を含む。）で、前年同期の 2 1, 8 9 1, 1 3 9 千円と比較しますと、4 0 5, 3 0 3 千円の減となっています。

この予算を執行するに当たっては、

- （1） その経費が既に執行の時期にきているか
- （2） 内容や方法は適切であるか
- （3） 予定された特定財源の確保の見通しはどうか

などについて十分留意し、経費の効率的運用と収支の均衡に努めています。

9 月末日における収入済額は、1 0, 8 1 9, 0 9 6 千円で、前年同期 1 0, 2 0 5, 2 5 5 千円と比較しますと、6 1 3, 8 4 1 千円の増となっています。

収入済額の大半は市税 2, 8 9 1, 9 8 9 千円、地方交付税 3, 9 1 2, 7 8 1 千円、国庫支出金 1, 7 8 8, 7 1 6 千円等が主なもので、また収入済額の調定額に対する収入率は、7 0. 7 %（前年同期 6 3. 1 %）、予算現額に対する収入率は、5 0. 4 %（前年同期 4 6. 6 %）となっています。

一方、歳出の執行額は、7, 8 9 1, 3 4 2 千円で、前年同期 7, 6 2 0, 7 5 0 千円と比較しますと、2 7 0, 5 9 2 千円の増で、執行率 3 6. 7 %（前年同期 3 4. 8 %）となっています。